

# 昭和55年度 和歌山県名匠

## 【宮大工】

みや だい く  
みつ い のり ふみ  
三 井 智 文

【現住所】岩出町（現：岩出市）

【生 年】大正4年

### 職 歴

長野県諏訪郡富士見町に生まれる。

18歳の時、諏訪市内の神社新築に従事したのが契機となり、以後全国各地の国宝、重要文化財等の修復にあたっている。

### 業績の概要

復員後の昭和24年以降、長野県諏訪神社拝殿、香川県本山寺本堂、屋島寺本堂、金刀比羅宮表書院・奥書院、広島県西国寺本堂など国宝、重要文化財等の修復工事に、大工又は大工棟梁として従事したが、昭和44年からは(社)和歌山県文化財研究会技術員として、県内の文化財保存修理に精励してきた。

主なものとしては、薬王寺観音堂（重文）、長保寺本堂（国宝）、三船神社本殿（重文）、丹生官省符神社本殿（重文）等の修理の他、紀伊風土記の丘の民家移転（旧谷山家、旧柳川家、旧谷村家、旧小早川家住宅）にも大工棟梁として熟練した腕を発揮し、昭和49年度県教育功労者表彰受賞。

現在、広八幡神社楼門（重文）を修復中である。  
（重文…国指定重要文化財）